

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分	
1 自然災害に関するリスク	① 地震、風水害	1 全学的な危機管理体制が整備されていない。	A	
		2 災害等発生時の緊急連絡体制に不備があった。	B	
		3 自然災害により施設等に被害があった。	B	
		4 ライフラインの遮断により教育、研究、診療等に多大な影響を受けた。	B	
2 施設に関するリスク	① 火災、爆発、停電	1 施設損壊に影響がある火災が発生した。	B	
		2 停電時に自家発電機がトラブルで運転しなかった。	B	
		3 周辺地域に火災被害が拡大した。	B	
	② 施設の管理	1 建物の老朽化により損壊し、通行人や駐車中の車に損害を与えた。	B	
		2 危険箇所でも人身(物損)事故が起こった。	B	
		3 工事現場の仮設物により第三者が事故に遭った。	B	
		4 施設の不備により転落事故が発生した。	B	
		5 道路(歩道)の不備により転倒し、怪我をした。	C	
		6 建物の老朽化に起因する雨漏りにより漏電事故が発生した。	B	
		7 水道管の老朽化による漏水事故が発生した。	D	
		8 大学より下水道排出基準値以上の排水物を流した。	B	
		9 学外者が学内グラウンドを無断で使用し負傷(死亡)した。	B	
		10 管理人不在時にプールでの事故が発生した。	B	
		11 プールの水質悪化による健康被害が発生した。	B	
		12 アスベスト建材による健康被害が発生した。	B	
		13 換気設備の不備に起因する中毒・健康被害が発生した。	B	
		14 資料室等におけるカビ等によりアレルギーが生じた。	D	
		15 外灯の不備に起因する建物内外の盗難等並びに人的事故が発生した。	B	
		16 屋外における農場生産物並びに家畜等の盗難事故が発生した。	D	
		17 学内における車や自転車の放置により、接触事故や緊急車両が通れない等の事態が発生した。	A	
		18 建物のドア・扉の施錠不備並びに機械警備の不備に起因する盗難事故が発生した。	B	
		19 鍵の管理が悪く、合鍵を作られた。	B	
		20 建物のマスターキーが整備されていないため、火災の際、初期消火ができず被害が拡大した。	B	
		21 薬品棚の転倒防止が不十分であったため地震時に転倒して薬品が散乱した。	B	
		22 資料室等における書籍等の落下により怪我をした。	D	
		23 障害者の方がバリアフリー未対策の所で事故に遭った。	B	
		24 雨上がりの水により転倒等の事故が発生した。	D	
		25 廊下に物品等が置いてあるため、緊急時の避難に支障があり逃げ遅れた。	B	
		26 建物の角、金属建具等の角で怪我をした。	D	
		27 廊下コーナー部において、人とぶつかり怪我をさせた。	D	
28 防火上、常閉している扉を勢いよく開けたため、反対側にいた人が怪我をした。	D			
29 サッカーゴールが倒れ、学生が負傷(死亡)した。	B			
30 隣家の空き家の瓦が敷地内に落ちたり、台風で飛んで来て被害が生じた。	B			
③ 有害物質等	1 職員が有害物質を紛失した。	B		
	2 劇薬等の盗難事件が発生した。	B		
	3 図書館資料に毒物等が塗られた。	B		
	4 事故等による毒劇物等の流出により健康被害が発生した。	B		
	5 農場生産物への有害物質等による汚染が発生した。	B		
④ 不審者	1 外部からの侵入者による盗難や器物破損が発生した。	B		
	2 学外者が学生を装い学内に侵入し窃盗事件を起こした。	B		
	3 不審者侵入による職員・学生に対する傷害事件が起こった。	B		
	4 夜間プールに学外者が侵入し溺死した。	B		
3 業務に関するリスク	① 教育・研究業務	履修	1 卒業・修了判定ミスで卒業・修了が出来なかった。	B
		2 教職員等の履修指導ミスにより受講科目の成績が認定されなかった。	B	
		3 教員免許状取得の履修指導ミスにより免許が取得できなかった。	B	
		4 履修登録等ができず、結果、卒業ができなくなった(遅れた)。	B	

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分		
		5 成績の報告および整理がなされなかったため卒業ができなかった(遅れた)。	B		
		6 カリキュラム編成の都合により本来の履修科目が履修できなくなった。	B		
		7 規則等に決められた授業が(当該学生の)在学中に実施されなかった。	B		
		8 専修免許取得に必要な科目が開講されなかった。	B		
		9 試験問題の印刷の際、問題用紙が紛失し問題が漏洩した。	B		
		10 定期試験の問題に誤字・脱字・不鮮明な画像等が見出され、採点の修正を行なった。	B		
		11 授業料免除、奨学金申請等の処理ミスにより手続きが行われなかった。	B		
		12 免除結果を申請者に通知後に、判定誤りがあったことが判明した。	B		
		13 免除結果を申請者に通知後に、免除総額(免除実施可能額)を超えて免除結果を出したことが判明した。	B		
		14 免除判定に不満の申請者が、文科省へ投書した。	B		
		15 免除申請受付の際に、提出書類確認(家庭・家計状況)でトラブルになった。	B		
		16 学生への周知不足により、奨学金の各種書類の提出が遅れるなどし、トラブルが発生した。	B		
		17 授業・試験が不測の事態(自然・人為)により長期にわたり実施できなかった。	B		
		18 学籍・成績関係原簿等が災害などにより損傷・焼失した。	B		
		19 成績データの流出・改ざん・消失があった。	B		
		20 掲示物が無断ではがされ、情報が学生へ伝わらなかった。	D		
		21 休講の連絡が学生に通知されるのが遅れた。	D		
		22 教務事務システムの不具合により、休暇中あるいは休業中に学生が来学し登録する必要が生じた。	B		
		23 講義、定期試験において教室の二重(同時)使用が発生した。	D		
		24 履修単位が足りず卒業できないため就職内定取り消しとなった。	D		
		②	実験・実習	1 実験・実習中に不慮の事故が発生した。	B
				2 授業中に病院での検査・治療が必要な怪我をした。	B
				3 学生が無断で実習を欠席・交替し、実習先から苦情があった。	D
				4 急な日程変更のため、連絡が学生に行き渡らなかった。	D
5 学外授業、フィールド調査等の際、学生が事故等に巻き込まれた。	B				
6 学校活動中に交通事故等(修学旅行時等)にあった。	B				
7 教育実習先において、先生や生徒に怪我をさせたり、実習校の物品を壊した。	B				
8 介護等体験先施設においてお年寄りに怪我をさせたり、物を壊した。	B				
9 学生が教育実習において、帰宅が遅くなり、事故を起こした。	B				
10 学生が教育実習において、帰宅途中で不審者に追いかけられ怪我をした。	B				
11 教育実習期の学生が不眠・不食等により身体的、精神的被害を被った。	B				
12 解剖実習中の学生がメスにより怪我を負った。	B				
13 病棟実習中の学生が結核患者等と接触し感染が疑われた。	B				
14 病棟実習中の学生が針刺し事故を起こし、肝炎等に罹患した。	B				
15 入院患者を本学職員がサポート中に患者がつかずき負傷(骨折等)した。	B				
16 学生が実習中の患者データ等を記録した記録媒体を紛失した。	B				
17 学研災保険未加入者が実験中に事故にあった。	B				
18 実習中に天候(猛暑・寒波等)に起因する健康被害があった。	D				
③	入試業務	1 入試問題で著作物を使用して、著作権を侵害した。	B		
		2 入試ミス(出題ミス、合否判定ミス等)が発生した結果、受験者が不利益を被った。	B		
		3 再合否判定の後、当初不合格の者を合格者と認定した。	B		
		4 大学の瑕疵(公表している入学試験日程の誤りなど)により、出願又は受験できなかった。	B		
		5 合格通知書が大学の瑕疵により受験生に届かず、入学手続きができなかった。	B		
		6 入学試験の成績開示において、誤った成績又は他人の成績を開示してしまったことに伴い、進路変更をした後に事実が発覚した。	B		
		7 入試当日になって問題文に補足説明が必要な箇所があった。	B		

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分		
		8 入試問題を印刷に出した後に、問題文の修正箇所が見つかった。	D		
		9 大学入試センター試験において、リスニング器機の不具合により再試験となった。	B		
		10 問題冊子の一部に落丁があった。	B		
		11 試験中に監督者等の携帯電話がコールされ、学生から苦情があった。	D		
		12 監督者のミスにより解答用紙の回収漏れがあった。	B		
		13 問題用紙の配布に手間取り試験開始の時間が遅れた。	B		
		14 受験生が受験番号をまちがえて記載し、誤記された受験生が欠席し、監督者の確認ミスにより混乱が生じた。	B		
		15 入学料・授業料を納入済みの合格者を、関係書類が未着のため入学未手続者としようとした。	B		
		16 入学者選抜及びオープンキャンパス(大学説明会)の会場において、受験者及び参加者が大学の瑕疵により事故等にあった。	B		
		④ 診療業務	医療ミス	1 医療ミスによる事故	B
				2 臓器移植等に伴うリスクの発生	B
		⑤	薬剤	1 処方量間違い	B
				2 過剰与薬	B
				3 投与速度速すぎ	B
				4 患者間違い	B
				5 薬剤間違い	B
6 投与方法間違い	B				
7 その他の処方・与薬に関する内容	B				
8 数量間違い調剤	B				
9 その他の調剤・製剤管理等に関する内容	B				
10 その他の薬剤・血液製剤管理に関する内容	B				
⑥	輸血	1 クロスマッチ間違い	B		
		2 結果記入・入力間違い	B		
		3 その他の輸血検査に関する内容	B		
		4 その他の血液製剤への放射線照射及び輸血に関する内容	B		
⑦	治療・処置	1 患者間違い	B		
		2 部位取違い	B		
		3 診察・治療・処置等その他の取違い	B		
		4 方法(手技)の誤り	B		
		5 未実施・忘れ	B		
		6 不必要行為の実施	B		
		7 患者体位の誤り	B		
		8 診察・治療等のその他の誤り	B		
		9 誤嚥	B		
		10 異物の体内残存	B		
		11 その他の治療・処置に関する内容	B		
⑧	医療用具(機器)の使用・管理	1 組み立て	D		
		2 設定忘れ・電源入れ忘れ	B		
		3 故障	B		
		4 知識不足	B		
		5 警報設定忘れ	B		
		6 警報設定範囲	B		
		7 使用前・使用中の点検・管理ミス	B		
		8 消毒・清潔操作の誤り	B		
		9 破損	D		
		10 その他の医療用具(機器)の使用・管理に関する内容	B		
⑨	ドレーン、チューブ類の使用・管理	1 点滴漏れ	B		
		2 自己抜去	B		
		3 自然抜去	B		
		4 接続はずれ	B		
		5 閉塞	B		
		6 破損・切断	B		

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分	
	⑩	7 接続間違い	B	
		8 空気混入	B	
		9 その他のドレーン、チューブ類の使用・管理に関する内容	B	
		検査	1 患者取違い	B
			2 検査手技・判定技術の間違い	B
			3 検体採取時のミス	B
			4 検体取違い	B
			5 検体紛失	D
			6 検体のコンタミネーション	B
			7 分析機器・器具管理	B
	8 検査機器・器具準備		D	
	9 結果報告		B	
	10 その他の検査に関する内容		B	
	⑪	療養上の場面	1 転倒	B
			2 転落	B
			3 衝突	B
			4 拘束・抑制	D
			5 重度な(筋層Ⅲ度・Ⅳ度に届く)褥瘡	D
			6 誤嚥	B
			7 誤飲	B
			8 その他の療養上の世話・療養生活に関する内容	B
			9 その他の搬送・移送に関する内容	B
			10 無断外出・外泊	B
			11 その他の自己管理薬に関する内容	B
			12 その他の給食・栄養に関する内容	B
	⑫	危険業務・労災事故	1 出勤(退庁)時に交通事故を起こした。	B
			2 業務に伴う自動車(公用車)運転時に事故にあった。	B
			3 労働者災害(業務中、実験中の事故等)が発生した。	B
			4 出張先で事故にあった。	B
			5 作業環境測定を行う職員が有害物質の暴露等により事故にあった。	B
			6 建物の調査中において、高所から落下した。	B
			7 大掃除において、高所の窓清掃中に落下した。	B
			8 薬品の使い方を誤って怪我をした。	B
9 薬品類(農薬類)の取扱いに起因する健康被害があった。			B	
10 機械・器具の運転・操作時に起因する事故が発生した。			B	
11 害虫等に起因する被傷・感染事故が発生した。			B	
12 家畜(牛・豚)の飼育中に起因する被傷・感染事故が発生した。			B	
⑬			その他の業務	1 書類(証明書等)作成上のトラブル
	2 職員の給与(本給及び諸手当等)の決定誤り	B		
	3 給与情報の人事システムへの入力ミス	B		
	4 職員の退職手当金額の決定誤り	B		
	5 職員の退職手当支給誤り(支給すべきものを支給しなかった等)	B		
	6 給与計算間違いで、後日返金させられた。	D		
	7 労働保険、社会保険に係る手続きの誤り(返納、追徴)があった。	B		
4 学生、児童・生徒に関するリスク	① 課外活動	1 課外活動における移動中に事故にあった。	B	
		2 ボランティアのキャンプ中に作った料理で食中毒を起こした。	B	
		3 夏季のスポーツ活動中に熱中症などの事故が発生した。	B	
		4 対外試合で車に同乗遠征し、インフルエンザに集団感染した。	B	
		5 課外活動で器物破損や人身事故が発生した。	B	
		6 熱気球が民家に墜落した。	B	
		7 イベント参加時に不慮の事故にあった。	B	
		8 ボランティア中に子供や老人に怪我をさせた。	B	
		9 サークルで顧問教員や部員が不祥事(傷害事件、セクハラ、横領事件)を起こした。	B	
		10 サークルの騒音に対し訴えられた。	B	
		11 研究会が不正アクセスをした。または、有害サイトの運営をした。	B	
		12 研究会等が著作権を侵害した。	B	

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分
		13 研究会が不法電波を流したり、悪質な放送をした。	B
		14 サークル・研究会が、学外公演で謝金トラブルを起こした。	B
		15 野焼きボランティアで火事となり火傷を負った。	B
		16 課外活動サークルの懇親会において飲酒し、急性アルコール中毒を起こした。	B
		17 学内に暴走族が侵入した。	B
	② 学生生活	1 通学・帰宅途中に交通事故にあった。	B
		2 深夜帰宅中強盗・破廉恥行為等を受けた。	B
		3 学生の犯罪(個人又は集団)により社会に損害を与えた。	B
		4 人命救助しようとした学生が、負傷(死亡)した。	B
		5 学生がサギにあい金銭的被害を受けた。	B
		6 学生が飲酒し、犯罪や事故を起こした。	B
		7 学内において学生同士の暴力行為があり、マスコミに取り上げられた。	B
		8 就職活動中に企業担当者等から人権侵害があり、就職活動に支障が出た。	B
		9 学生が作ったビラやポスターの内容に問題があり、苦情があった。	B
		10 学生が宗教上の勧誘や活動でトラブルが発生し、苦情があった。	B
		11 学生の不法駐車により周辺住民とのトラブルが生じた。	D
		12 学生が家庭教師先とのトラブルを起し、苦情があった。	B
		13 大学が保証人の学生(卒業学生含む。)が家賃滞納し遁走した。	B
		14 合宿研修所で事故や不祥事が起こった。	B
		15 学生が深夜遅くまで騒音を出し、付近住民に訴えられた。	B
		16 児童が授業中や休み時間に友達とケンカをして後遺症が残る怪我をした。	B
5 情報に関するリスク	① 個人情報	1 内部機密情報(職員の人事・給与関係、健康診断、人間ドック及び職員録の個人情報)の漏洩、窃盗があった。	B
		2 共済関係の個人情報(長期給付、短期給付、各種資金の貸付、貯金等、障害等に対する年金等、その他福祉関係、及び家族を含む病気等個人データ)の漏洩があった。	B
		3 職員が個人情報(入試・成績表、指導要録、教務必携、パソコン、通知表、外部情報媒体等)を紛失した。	B
		4 不正行為の証拠となる電子ファイルが水害等不慮の事故によりデータが損壊した。	B
		5 重要電子情報の破壊、紛失があった。	B
		6 内部機密情報の不正取得があった。	B
		7 機密事項の漏洩により捜索を受けた。	B
		8 ハードウェアの紛失・盗難による情報の流出があった。	B
		9 パソコンが盗難され、個人情報等が流失した。	B
		10 情報システム構成機器の盗難、紛失があった。	B
		11 USBメモリ等の携帯用記録媒体の紛失及び盗難による情報の流出があった。	B
		12 委託業者による個人情報や機密情報を含む重要情報の持出しがあった。	B
		13 自宅等での業務実行による情報流出(Winny,Share等のファイル交換ソフトを利用したパソコンのコンピュータウイルス感染)があった。	B
		14 ネットワークを通じて侵入されることによるサーバ及び個々のパソコンに記録されている情報(個人情報を含む)の流出があった。	B
		15 学会出張、自宅持ち帰り等による職員の個人情報の流出があった。	B
		16 ウイニー等のソフトの使用で学生情報が流出した。	B
		17 外部へのメール誤送信による情報流出があった。	B
		18 外部への添付ファイル付きメール送信による個人情報や機密情報を含む重要情報の持出しがあった。	B
		19 メール宛先を「BCC.」ではなく、「CC.」に記載したことによる個人情報(メールアドレス)の流出があった。	B
		20 外部記録媒体や書類の卓上への放置による個人情報の流出があった。	B
		21 ファクシミリ(FAX)の誤送信による個人情報の流出があった。	B
	② コンピュータ、ネットワーク	1 ハードウェアの故障・災害等による情報の滅失があった。	B
		2 ハードディスククラッシュ、空調機の故障及び予期しない停電等によるシステムダウンが発生した。	B
		3 標的型メール等からのコンピュータウイルス感染による情報の流出があ	B

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分
		4 外部からの持ち込み機器の接続によるコンピュータウイルスへの感染やP2Pソフトウェアによる情報流出があった。	B
		5 ネットワークシステムの停止、破壊があった。	B
		6 情報提供に関わるサーバ類の停止、破壊があった。	B
		7 情報システムの操作マニュアルに基づかない操作によるデータの滅損失、流出及びシステムダウン等が発生した。	B
		8 学外公開WWWサーバへの不正アクセス(ホームページ改ざん、踏み台、不正中継、フィッシングサイト開設等)があった。	B
		9 情報システムへの不正侵入、攻撃があった。	B
		10 ホームページにトラブルが発生した。	B
		11 wwwサーバへのフィッシングサイト設置等による損害賠償が提起された。	B
		12 Web サーバの乗っ取りがあった。	B
		13 情報システムを使った著作権侵害、人権侵害などが発生した。	B
		14 DDos攻撃やSQLインジェクション攻撃があった。	B
		15 本学サーバが踏み台となった、他組織への攻撃があった。	B
		16 他組織の情報システムへの不正侵入、攻撃があった。	B
		17 他組織Web への書き込みなどによる、誹謗中傷、人権侵害があった。	B
		18 情報管理のセキュリティ(コンピュータウイルス、ハッカー等からの情報保護)に不備があった。	B
		19 ソフトの違法コピーによる損害賠償が提起された	B
		20 OSやアプリケーションソフトウェアの機知の脆弱性に対する修正プログラムや回避策の未適用であった。	B
		21 パスワードを記載した紙をパソコン等へ貼付していた。	B
		22 ユーザID及びパスワードの本人以外の使用があった。	B
		23 ユーザID及びパスワードの電話による問い合わせ(本人の確認)があった。	B
6 不祥事、事件・事故に関するリスク	① ハラスメント	1 職員の不祥事(セクハラ、アカハラ、パワハラ等の就業規則違反)があった。	B
		2 健康診断時にセクハラがあった。	B
		3 学生(職員)がセクハラ行為を受けてマスコミに直訴した。	B
		4 人権侵害の疑いのある事実が発生した。	B
		5 学校において差別事象が発生した。	B
		6 小中学校におけるいじめ、恐喝等があった。	B
		7 児童虐待があった。	B
		8 実習生による実習校の児童、生徒にセクハラがあった。	B
		9 教育実習校において実習校の教員によるパワハラ、アカハラ、セクハラがあった。	B
	② 犯罪行為	1 犯罪を犯した(窃盗、傷害 その他)	B
		2 公費の横領・不正使用があった。	B
		3 痴漢、盗撮、いたづらがあった。	B
		4 器物損壊、机、椅子等の破壊があった。	B
		5 職員が体罰を行った。	B
	③ 研究費の不正使用	1 公的研究費の不正経理があった。	B
		2 研究費の流用等があった。	B
		3 科学研究費を不正に受給した。	B
		4 不正行為に基づく虚偽申請による公的研究資金の受給があった。	B
	④ 不正経理	1 出張旅費を不正に受給した。	B
		2 学生(TA・RA)の給料を講座でプールした。	B
		3 職員が不適切な学級会計、学年会計の処理を行った。	B
	⑤ ねつ造、改ざん、盗用	1 研究活動の不正行為があった。	B
		2 学生による研究論文、課題等の盗作があった。	B
	⑥ 知的財産権侵害	1 訴訟(著作権侵害等)が提起された。	B
	⑦ 利益相反	1 利益相反行為があった。	B
	⑧ 安全保障輸出管理	1 外為法等の違反があった。	B
	⑨ 交通事故	1 飲酒運転による交通事故を起こした。	B

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分	
		2 職員が重大な交通違反(速度超過50km以上並び酒気帯び、飲酒運転)を起こした。	B	
		3 保有車両の事故があった。	B	
		⑩ 盗難	1 盗難(書籍、パソコン)があった。	B
		2 廊下に置いてある物品等が盗難にあった。	B	
		3 現金の紛失があった。	B	
		⑪ その他	1 予定価格の漏洩、談合があった。	B
		2 押し売り(書籍の売り込み)があった。	D	
		3 振り込め詐欺があった。	B	
		4 財産台帳登録前の資料紛失があった。	B	
		5 図書資料、新聞の切り取りがあった。	D	
		6 職員による資料の無断帯出があった。	B	
		7 貴重書の紛失・汚損があった。	B	
		8 職員が起こした交通事故の相手方が大学に対して脅迫を行った。	B	
		9 生徒、児童から職員への危害の事故があった。	B	
10 保育中の園児の怪我によるトラブルがあった。	B			
11 喫煙マナーの不備により生じる事故(例:歩きタバコにより第三者にやけど等の傷害を与えるなど。)があった。	D			
7 健康に関するリスク	① メンタルヘルス	1 職員が異動等に伴うストレスで心身に不調をきたし、大学に責任があると訴えてきた。	B	
		2 学生が実験実習、演習等による長時間の拘束により、精神障害等を患った。	B	
	② 感染症、食中毒、異物混入	1 附属病院内感染からの患者・職員の安全確保を怠った。	B	
		2 法的伝染病の適切な処置を怠り、学級閉鎖等の事態を招いた。	B	
		3 家畜伝染病の蔓延防止を怠った。	B	
		4 学生が留学中SARSのため帰国した。	B	
		5 学校給食や調理実習で食中毒が発生した。	B	
		6 学内の飲食物により食中毒が発生した。	B	
		7 学校給食や調理実習で、調理品に異物が混入した。	B	
	8 雇用に関するリスク	① 人事・労務	1 採用内定、決定に関するトラブルがあった。	B
			2 職員の退職に関するトラブル(解雇等)があった。	B
			3 職員の不祥事(兼業規程違反等の就業規則違反)があった。	B
			4 職員の服務義務違反があった。	B
			5 男女雇用機会均等法や不当労働行為などの労務関連法令違反(労使協定違反を含む。)があった。	B
6 過度な時間外勤務による職員の体調不良・過労等があった。			B	
9 経営に関するリスク	① 運営資金	1 外部資金が減少した。	B	
		② 資金運用	1 運用資金が減少した。	B
	③ 社会的評価	1 入学者が定員を割った。	B	
		2 応募学生が減少した。	B	
		3 就職率が低下した。	A	
		4 大学の評価が著しく低下した。	B	
	④ 外部対応	1 職員の窓口、電話対応等(苦情処理対応を含む。)の不備等に起因するトラブルがあった。	B	
		2 来学者から職員等が危害を受けた。	B	
		3 本学職員等を騙る不審な電話があった。	D	
	⑤ 訴訟・賠償	1 大学を相手とする訴訟が提起された。	B	
	10 社会に関するリスク	① テロ、破壊活動	1 テロによる学生・職員等への被害があった。	B
			2 テロの予告があった。	B
		② 風評、批判、	1 風評被害が発生した。	B

佐賀大学におけるリスクの一覧

参考

※ 「リスク項目」は、全てのリスクを網羅したものではなく、また「区分」についても目安として区別したもので、参考として一覧にしたものである。

大分類	小分類	リスク項目	区分
	中傷	2 新聞等のメディアに事実と異なることが、掲載された。	B
	③ 地域社会との関係悪化	1 地域住民からの大学に対する苦情があった。	B